

2026年度

学校名 南陽市立赤湯小学校

対象学年 第3学年

① 学習指導案

プログラム	No. 11 「 地域景観プランナーになろう 」
単元名 (全5時間)	地域の宝“烏帽子山千本桜”が、いつまでもきれいに咲き続けるために・ ・・!
学習のねらい	地域の景観の1つである烏帽子山千本桜について学び、自分たちが今できることを考え、実践することを通して郷土愛を育むとともに、持続可能なまちづくりに寄与しようとする心を醸成する。
学習内容	1 県土整備部県土利用政策課の方をお招きし、「やまがたの景観（出前授業）」について学ぶ（7月24日） 2 烏帽子山千本桜保存会の会長様をお招きし、「烏帽子山千本桜」の歴史や桜木に対する思いをお聞きし、私たちにできることを考える。（10月21日） 3 烏帽子山公園に出向き、施肥作業を行う。また、今年度設置予定の「見晴台」を見学し、故郷の良さを見つめる。（10月28日） 4 烏帽子山千本桜について広く知ってもらうために、「私のお気に入り桜スポット」を選び、缶バッジを製作。可能な範囲で、市民や観光客等に配付する。（12月）
参考資料 準備品 実施場所等	・資料等は、県土整備部県土利用政策課並びに烏帽子山千本桜保存会にて準備。 ・景観出前授業・講話・缶バッジ製作は、学校内で実施。施肥作業は、烏帽子山公園現地に移動して実施。

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1	「やまがた・南陽の景観」について、山形県土整備部県土利用政策課の担当者から講話をいただく。	会の運営・進行を担う。 事前のワークシートを準備する。	ワークシートの記載内容から評価する。
1	「烏帽子山千本桜」の歴史や桜木に対する思いとして、烏帽子山千本桜保存会の会長様及び会員の方より講話をいただく。	会の運営・進行を担う。 事前のワークシートを準備する。	ワークシートの記載内容から評価する。

2	烏帽子山公園に出向き、施肥作業を行う。その後、見晴台の見学を行う。	児童の輸送計画作成と当日作業の事前打ち合わせ 作業中の安全確保	作業後に、感想文を書かせ、その内容から評価する。
1	「私のお気に入り桜スポット」として、缶バッジを製作する。	製作作業の準備。	当日の作業の様子から評価する。

<留意点>

- ・ゲストティーチャーによる出前授業や講話が主となることから、事前の打ち合わせを丁寧活綿密に行っておく。
- ・施肥作業について、施肥の時期や当日の天候により、実施日が変更となる場合があることから、詳細についてこまめな打ち合わせを行っておく。

② 事業実施報告書詳細

学校名 南陽市立赤湯小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1	赤湯小学校の特別教室	「やまがた・南陽の景観」について、山形県土整備部県土利用政策課の担当者から講話をいただく。	 	本講話を夏休み前に行うことで、家族旅行等で景観について学んだことを想起させ理解を深めるようにしたことで、児童の反応も良く、本テーマにつなげることができた。
1	赤湯小学校の教室棟	「烏帽子山千本桜」の歴史や桜木に対する思いとして、烏帽子山千本桜保存会の会長様及び会員の方より講話をいただく。		身近なところで当たり前眺めてきた烏帽子山の桜について、その歴史やきれいに咲かせ続けるための苦勞を学び、これからもこの環境を維

				持っていくために、自分たちができることは何かを真剣に考えることができた。
2	南陽市 烏帽子山公園	烏帽子山公園に出向き、施肥作業を行う。その後、見晴台の見学を行う。	 	この日の施肥作業が、来春の桜の開花に大きく関わることを実際の活動から学び、さらに愛郷心を高めることができた。 また、新設された見晴台から街中を眺め、改めて自分たちができることの大切さを実感した。
1	赤湯小学校の 教室棟	「私のお気に入り桜スポット」を選定して、缶バッジを製作する。製作した缶バッジを、家族にプレゼントしたり、観光客の方へのPRのために自分たちが付けて宣伝したりする材料にする。		活動を通してながら、ふるさとの良さや桜の木々を大切にしようとする心を新たにすることができた。

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

本校第3学年では、これまでこの施肥作業を通じて愛郷心を育み、桜木を守り育てることについて意識を高める活動を続けてまいりました。これまで、地元の桜について学ぶことから始めていましたが、今回は、県の専門家にもご支援いただき、「景観」そして「まちづくり」という幅広い視点から学びを深めることとしました。さらに、今年度、新たに設置された「見晴台」のお披露目にも関わらせていただくことで、自分のふるさとをより深く見

<p>つめ直すきっかけとすることも工夫の一つとして考えました。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>折に触れて、「烏帽子山千本桜保存会」の会長様が相談や支援のためにこまめにご来校していただいたおかげもあり、大きな苦労は特にありませんでした。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>この度の活動を通し、地域の環境保全や烏帽子山の歴史、桜を守り育て続けることの大切さなどについて実感した様子が、児童の表情やワークシート等から読み取ることができました。また、実際に烏帽子山公園に出向き、桜の木の施肥作業を行ったことにより、「心のふるさと」烏帽子山「」を、これからも大事にしていかなければならないという意識の高まりが感じられました。</p> <p>今後、地元の桜を見る機会はまだまだ続きますが、中学校に進学後、改めて、「南陽市の桜」について学ぶ機会を設定しています。そのことについても、楽しみに感じている児童も多く、持続可能なまちづくりに貢献できる素地が高められたと考えています。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>担当教諭等が指導する授業とは異なり、実際に桜守りをしている方々の講話や思い、そして具体的な活動を紹介していただいた後に共に実践することで、景観を大切にするだけでなく、愛郷心を育むために必要な指導や支援について学ぶことができた事業となりました。ここで学んだ指導の実際を、次年度につなげる工夫にも手掛けることができ、指導者としての資質能力の向上にもつながったと捉えています。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>小学3年生という発達段階を考えた際、「施肥作業」や「景観」という言葉はなじみが薄く、説明してもなかなか実感が伴いにくいことがわかりました。特に、施肥という言葉置き換えて、「桜にご飯」のように擬人化したことで、より自分事として捉えやすいようであることもわかりました。今後も、3年生を対象に引き続きこの事業を展開していく予定ですが、発達段階に応じて児童の思考と活動が結びつくように配慮していかなければならないと感じています。</p>

① 学習指導案代用

赤湯小学校児童との「さくら施肥協働作業」実施要項 (学習指導案)

1 目的

急激な少子化が進行する中で、将来の地域の担い手たちと「南陽の宝『烏帽子山公園の桜』」を一緒に育てる事を通して、愛郷心を醸成し共有するとともに、誇れる街づくりを進める。

- (1)事前学習:桜の種類や先人の赤湯振興への偉業を理解し、次週体験への興味関心を高める。
- (2)現地体験:施肥体験で桜の成長に直接関わり、烏帽子山の桜や故郷に興味関心を高める。

2 事業主体等

- (1)主催 南陽市立赤湯小学校(以下「赤小」という。)
- (2)共催 烏帽子山千本桜保存会(以下「保存会」という。)
- (3)事業協力 やまがた社会貢献基金協働助成事業

3 日程等

- (1)事前学習 10/21(火) 13:50~14:35 赤湯小学校3学年スペース
演題 「さくらに『ごはん』をあげよう」
講師 保存会 会長 竹田耕平
- (2)現地実習 10/28(火) 学校からスクールバス乗車 13:10、集合(上駐車場)13:20
 - ①開会行事 13:25…進行:学年主任(指導・挨拶含む)
ア.挨拶(協力団体紹介含む):保存会長 竹田耕平(以下、進行)
*協力団体;南陽青年会議所、南陽青年団、市建設課、市社教課 等
イ.やり方説明:保存会事業部長 平林敏男
 - ②施肥「北斜面」 13:40…肥料の入った小袋を持ち、保存会員等の後について移動
14:05…施肥作業終了し、集合場所を通過して「見晴らし台」に移動
 - ③見学「見晴らし台」 14:20…「見晴らし台」到着、市建設課職員説明、写真撮影
14:30…「見晴らし台」から駐車場に移動開始
 - ④閉会行事 14:40~14:45…学年主任(指導・挨拶含む)
14:45…バス乗車(全員学校で解散)
- (3)ふりかえり学習 学校で後日実施(作文等)

3 天候等への対応 *前日(10/27)の判断が必要な場合は、児童放課時までに行う。

- (1)晴天時…前述のとおり実施する
 - (2)雨天時…斜面には行かない。傘かカッパ(使いっきりで良い)、長靴を持参してもらう。
 - ①小雨:コース分けし、公園内散策路から上下法(斜面)に施肥する。(肥料量は減少する)
施肥後、「見学『見晴らし台』(前述③)」を行なう。
 - ②大雨:施肥は行わない。「見学『見晴らし台』(前述③)」を行ない、終了後バスで帰校する。
- *当日の判断は、現場で 12:40 に学校と保存会の代表(各2名)で行う。

- ### 4 参加者
- | | | | | | | | |
|-------|-----|-----|----|---|---------------|---|------|
| 赤小 児童 | 94人 | 教職員 | 5人 | 計 | 99人 | 計 | 123人 |
| 保存会 | | | | | 12人 | | |
| 協力団体等 | | | | | 12人(10/22 現在) | | |

南陽青年会議所(5)、南陽青年団(2)、赤小見守りサポーター(2)、市建設課(1)、市社教課(2)

5 その他

- (1)マスコミ数社が取材予定です。
- (2)問い合わせ等は、保存会長竹田耕平(080-9338-6513)にお願いします。 以上